

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

していぶんかざいしせき

指定文化財(史跡)

ちょうげんじあと

重玄寺跡

新高総早倉矢
見梁社島敷掛
市市市町市町

井原市

浅里笠
口庄岡
市町市



場所

いばらしよし いちようてんじんやま
・井原市芳井町天神山



時代

むろまち だい
・室町時代



指定年月日

・平成17(2005)年
3月16日



所有

ちょうげんじ
・重玄寺



しせき

この史跡について

かぎつがん ねん こんりゅう りんざいしゅうぶつ とうじ は じいん かいざん このえけ せんみょうしゅうちく
嘉吉元(1441)年に建立された臨済宗仏通寺派の寺院で、開山に近衛家ゆかりの千畝周竹を
招きました。そのため現在も近衛家ゆかりの宝物が伝えられています。

せんみょうしゅうちく おしやう がせいせつしゅう しんこう ちょうげんじ せつしゅう しゅうえん ぼしよ つた
また、千畝(周竹)和尚は、画聖雪舟と親交があり、そのため重玄寺は雪舟の終焉の場所と伝え
られ、多くの文献にその記載があります。(『東福寺誌』、『吉備物語』、『古画備考』、『備中集成志』、
『也足外集』等)

そうけんご なんと かさい あ てんしやうねんかん しょうしつ さい とよとみひでよし ほうじやう き
創建後、何度か火災に遭い、天正年間(1573 ~ 1592)に焼失した際には豊臣秀吉が方丈を寄
進したと言われていたが、昭和30(1955)年鐘楼門と土蔵を残して再び全焼し、現在の重玄寺
は井原市芳井町吉井篠原にあります。

